

案内 市民企画講座

1 女性の専門職による無料相談会 (企画・相談対応: 多職種ネットワーク高岡)

- 第1回 11月15日(日) 各回13:30~16:00(受付15:30まで)
- 第2回 2月21日(日) ※ 秘密は守ります。事前申し込み不要。

2 心を込めた対話の積み重ね 凸凹アップリケコミュニケーション

豊かで温かなチームづくり (企画: ふあん・ふあしい・café)

～一人ひとりの経験と学びを繋ぎ合わせる 私でも貢献できる みんなで主役になろう～

- ◆第1回 11月15日(日) 観察し、意味付けし認め合う
- ◆第2回 12月13日(日) 意味を繋ぎ、多様な物語を作る
- ◆第3回 1月17日(日) 選択肢を準備し、行動を積み重ねてみる

各回
10:00~12:00

講師: 岸 靖久さん (ふあん・ふあしい・café 代表、(一財)生涯学習開発財団認定プロフェッショナル、ホワイトボード・ミーティング@認定講師(マスター)、キャリアコンサルタント)
各回20名(申込順・単回受講可、託児有) 氏名、連絡先、希望受講回を男女平等推進センターへ

1、2いずれも

【場所】男女平等推進センター会議室(ウイング・ウイング高岡6階)

【申込・問合せ先】男女平等推進センター

電話: 20-1810、FAX: 20-1815、メール (gec@city.takaoka.lg.jp)

センター・登録団体等の活動や講座予定

10月

- 6日(火) E ネット定例会
- 22日(木) 男女平等推進プラン情報誌「ありて」編集会議
- 23日(金) 話スペース「ぽこ あ ぽこ」
- 30日(金)~31日(土) 男女平等 EXPO 高岡2020

11月

- 12日(木)~25日(水) 女性に対する暴力をなくす運動週間
- 15日(日) 市民企画講座(ふあん・ふあしい・café)
「心を込めた対話の積み重ね 凸凹アップリケ
コミュニケーション 豊かで温かなチームづくり」
- 15日(日) 市民企画講座(多職種ネットワーク高岡)
「女性たちによる無料相談会」(第1回)
- 27日(金) 話スペース「ぽこ あ ぽこ」
- 中旬予定 男女平等推進プラン情報誌「ありて」編集会議
E ネット定例会

相談室(配偶者暴力相談支援センター)

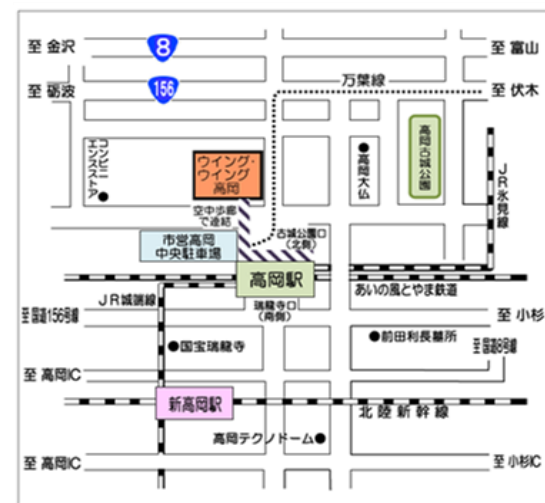
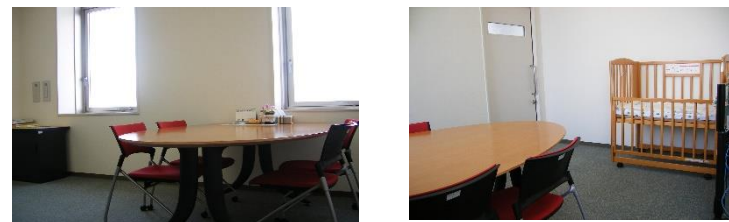
専任相談員が、DVや生き方、夫婦の問題等の相談を受けています。

※面接相談は要予約

相談時間 月・火・水・金 9:30~16:30
木 14:00~20:00

休業日 土曜・日曜・祝日・毎月第4月曜・年末年始

相談室専用電話 (0766) 20-1811



高岡市男女平等推進センター

休館日 毎月第4月曜日、12月29日~翌年1月3日

所在地 〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7(ウイング・ウイング高岡6階)

問合せ TEL:(0766)20-1810 FAX:(0766)20-1815 E-mail: gec@city.takaoka.lg.jp

HP: <http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html>

高岡市は男女平等・共同参画都市を宣言しています。「認めあい 支えあい 共に輝くひととまち」をみんなで目指しましょう。

高岡市男女平等推進センターだより

ありて mate

2020.10.1 No.89



保育の仕事にも多様性を

高岡市男女平等推進市民委員会 委員

大平 泰子 さん

高岡市男女平等推進市民委員会委員の大平泰子と申します。勤務先の富山国際大学子ども育成学部では、発達心理学や教育心理学など心理学関係の科目を中心に講義を担当しています。また、保育関係の演習科目や実習も担当しています。

近年、一般に「女性の仕事」というイメージのある職業にも男性が進出するようになりました。保育の仕事でも、男性の幼稚園教諭や保育士が徐々に増えてきています。例えば保育士は、かつては「保母」と呼ばれていましたが、男女雇用機会均等法の大幅な改正に伴って、児童福祉法施行令が改正(平成10年2月)され、「保母」の名称を「保育士」に改めるとともに男女共通の名称になりました。男性保育士の比率を厚生労働省の平成30年賃金構造基本統計調査でみると、女性保育士は21万6220人、男性保育士は1万3400人で、男性は全体の約6%です。「保育士」という男女共通の名称になって20年以上たちましたが、男性保育士の雇用人数はまだ少ないのが現状です。

男性が保育現場で働くことについてとりあげられた研究をみると、男性保育者の必要性や役割に関して、上司・同僚や保護者は、ダイナミックな遊び、力仕事、父親的な関わりなどの男性的な役割を期待しているようです。しかし、私の身近にいる男性保育者を思い浮かべてみると、どちらかといえば、穏やかな物腰の人や細かいところにも気がつく優しい人が多いような印象があります。男性のなかにも、エネルギーで皆の先頭に立つのが得意な人もいれば、こまやかで慈しみ深い人もいます。それは女性についても同様です。多様性が求められる現代では、いろいろなタイプの保育者と関わることのできる環境が、健やかな子どもの成長にもつながっていきます。性別にかかわらず、個々人の持ち味や得意なことをいかして、専門職として力を発揮することが求められるのではないのでしょうか。

